



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月7日

上場会社名 株式会社サンテック 上場取引所 東  
 コード番号 1960 URL <http://www.suntec-sec.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 剛志  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 船戸 文英 TEL 03-3265-6181  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	28,318	△6.8	△329	—	195	—	△70	—
2021年3月期第3四半期	30,399	△5.3	△463	—	△150	—	△496	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 304百万円 (266.7%) 2021年3月期第3四半期 83百万円 (△86.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△4.30	—
2021年3月期第3四半期	△29.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	43,524	30,637	70.1	1,869.03
2021年3月期	44,858	30,794	68.4	1,851.43

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 30,515百万円 2021年3月期 30,691百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	18.00	18.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△1.6	△100	—	500	5.2	△100	—	△6.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	17,000,000株	2021年3月期	17,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	672,941株	2021年3月期	422,693株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	16,466,122株	2021年3月期3Q	16,661,477株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 四半期個別業績

(1) 2022年3月期第3四半期の個別業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

① 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	18,844	△9.3	△347	—	108	—	△597	—
2021年3月期第3四半期	20,767	△0.6	△545	—	△247	—	△497	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△36.27	—
2021年3月期第3四半期	△29.88	—

② 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	35,690	27,686	77.6	1,695.73
2021年3月期	36,870	28,546	77.4	1,722.03

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 27,686百万円 2021年3月期 28,546百万円

(2) 個別業績予想

2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△3.0	△300	—	300	20.4	△400	—	△24.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、第12次中期経営計画(2019年4月～2022年3月)の最終年を迎え、「信頼と企業ブランドの確立(Next Stage)を目指し、選ばれる会社への挑戦」に向けて、「お客さま等のニーズに応え受注拡大に繋げる営業力の強化」、「品質・安全の確保と生産性向上による施工力強化と利益の確保」、「企業の礎と将来を担う人材の確保と育成」、「ガバナンスの確保」の4項目を重点方針として取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、電力部門が大型送電線工事の受注もあり堅調に推移し受注高は289億49百万円(前年同四半期比5.0%増)、新型コロナウイルス感染拡大や軍事クーデターによる混乱が長期化したことに伴う工事中断の影響があり売上高は283億18百万円(前年同四半期比6.8%減)となりました。

利益面では、原価改善により売上総利益が増加したものの新基幹システムの稼働によるソフトウェア償却費の計上により営業損失3億29百万円(前年同四半期は営業損失4億63百万円)、受取地代家賃が例年通りに推移し、為替差益1億14百万円の計上もあり経常利益1億95百万円(前年同四半期は経常損失1億50百万円)、投資有価証券評価損85百万円、事務所の建替えや賃貸用不動産の更新に向けた取り壊しによる固定資産除却損65百万円の計上により親会社株主に帰属する四半期純損失70百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億96百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

当第3四半期連結累計期間の売上高は208億33百万円(前年同四半期比5.0%減)となり、営業利益は7億64百万円(前年同四半期は、営業利益3億27百万円)となりました。

(東南アジア)

当第3四半期連結累計期間の売上高は57億62百万円(前年同四半期比22.1%減)となり、営業損失は27百万円(前年同四半期は、営業利益73百万円)となりました。

(その他アジア)

当第3四半期連結累計期間の売上高は17億65百万円(前年同四半期比60.2%増)となり、営業損失は26百万円(前年同四半期は、営業損失19百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億33百万円減少し、435億24百万円となりました。主な要因は、現金預金13億91百万円の増加に対し、受取手形・完成工事未収入金等37億43百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億76百万円減少し、128億87百万円となりました。主な要因は、未成工事受入金8億28百万円の増加に対し、支払手形・工事未払金等16億58百万円の減少などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円減少し、306億37百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金2億4百万円の増加に対し、利益剰余金3億69百万円の減少などによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績結果及び最近の業績動向を踏まえ、2021年11月5日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想を次のとおり修正しております。

売上高410億円、営業損失1億円、経常利益5億円、親会社株主に帰属する当期純損失1億円。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	6,642,495	8,033,612
受取手形・完成工事未収入金等	15,719,458	11,976,279
電子記録債権	875,340	883,640
未成工事支出金	518,112	684,402
その他	1,480,318	2,227,243
貸倒引当金	△93,154	△97,576
流動資産合計	25,142,571	23,707,601
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,555,694	4,555,694
その他(純額)	2,580,968	2,618,696
有形固定資産合計	7,136,662	7,174,390
無形固定資産		
のれん	188,022	75,208
その他	1,140,263	997,983
無形固定資産合計	1,328,285	1,073,192
投資その他の資産		
投資有価証券	4,697,018	4,963,154
投資不動産(純額)	5,247,267	5,287,265
繰延税金資産	410,177	410,017
その他	948,465	960,294
貸倒引当金	△51,940	△51,230
投資その他の資産合計	11,250,988	11,569,503
固定資産合計	19,715,936	19,817,086
資産合計	44,858,507	43,524,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,006,913	4,348,764
電子記録債務	1,688,555	1,802,137
短期借入金	266,766	102,566
未払法人税等	173,591	60,154
未成工事受入金	2,285,896	3,114,656
完成工事補償引当金	17,000	17,000
工事損失引当金	338,410	326,183
賞与引当金	288,350	10,690
その他	1,288,848	1,293,638
流動負債合計	12,354,332	11,075,791
固定負債		
長期借入金	266,796	230,796
繰延税金負債	690,247	788,103
役員退職慰労引当金	6,001	7,086
執行役員退職慰労引当金	26,900	32,857
退職給付に係る負債	88,091	99,690
その他	631,445	653,257
固定負債合計	1,709,481	1,811,790
負債合計	14,063,814	12,887,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,250	1,190,250
利益剰余金	28,159,591	27,790,325
自己株式	△302,898	△471,813
株主資本合計	29,046,942	28,508,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,515,289	1,719,926
為替換算調整勘定	14,483	203,850
退職給付に係る調整累計額	114,977	83,157
その他の包括利益累計額合計	1,644,750	2,006,934
非支配株主持分	103,000	121,409
純資産合計	30,794,693	30,637,105
負債純資産合計	44,858,507	43,524,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	30,399,158	28,318,037
売上原価	27,640,316	25,152,579
売上総利益	2,758,842	3,165,458
販売費及び一般管理費	3,222,164	3,494,621
営業損失(△)	△463,322	△329,163
営業外収益		
受取利息	11,419	3,377
受取配当金	93,800	90,998
受取地代家賃	394,926	388,480
為替差益	—	114,505
その他	255,097	185,343
営業外収益合計	755,243	782,705
営業外費用		
支払利息	6,259	5,983
不動産賃貸費用	131,154	125,672
不正関連損失	133,560	—
為替差損	58,748	—
その他	112,947	126,746
営業外費用合計	442,670	258,401
経常利益又は経常損失(△)	△150,748	195,139
特別利益		
固定資産売却益	360	2,561
投資有価証券売却益	58,007	—
その他	1,985	—
特別利益合計	60,353	2,561
特別損失		
固定資産除却損	0	65,912
投資有価証券評価損	—	85,519
工事損失引当金繰入額	310,701	—
その他	2,784	—
特別損失合計	313,485	151,431
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△403,880	46,269
法人税等	68,511	103,631
四半期純損失(△)	△472,392	△57,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,882	13,511
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△496,274	△70,873



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△472,392	△57,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	662,935	204,787
為替換算調整勘定	△143,167	189,367
退職給付に係る調整額	35,790	△31,819
その他の包括利益合計	555,557	362,335
四半期包括利益	83,165	304,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,401	291,311
非支配株主に係る四半期包括利益	763	13,661

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (会計方針の変更)

## (収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

従来は、工事の進捗部分について成果の確実性が認められる場合には、工事進行基準によっておりましたが、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転する場合には、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した工事原価が、予想される工事原価の合計に占める割合に基づいて行っております。なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はなく、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

## (時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,922,546	7,393,026	1,083,584	30,399,158	—	30,399,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,664	18,738	20,402	△20,402	—
計	21,922,546	7,394,690	1,102,323	30,419,561	△20,402	30,399,158
セグメント利益又は損失 (△)	327,110	73,897	△19,969	381,038	△844,360	△463,322

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△844,360千円は、主として親会社管理部門に係る費用(配賦不能営業費用)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,833,864	5,759,255	1,724,917	28,318,037	—	28,318,037
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,051	41,048	44,100	△44,100	—
計	20,833,864	5,762,306	1,765,966	28,362,137	△44,100	28,318,037
セグメント利益又は損失 (△)	764,019	△27,358	△26,015	710,645	△1,039,808	△329,163

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,039,808千円は、主として親会社管理部門に係る費用(配賦不能営業費用)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

## 3. その他

生産、受注及び販売の状況

## ① 連結受注実績

(単位：千円、%)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		対前年同四半期増減(△)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
内線工事	19,679,201	71.4	19,432,161	67.1	△247,039	△1.3
電力工事	4,259,746	15.4	7,065,440	24.4	2,805,693	65.9
空調給排水工事	3,074,265	11.2	2,006,320	6.9	△1,067,944	△34.7
機器製作	557,935	2.0	446,036	1.6	△111,898	△20.1
合計	27,571,147	100.0	28,949,958	100.0	1,378,810	5.0

## ② 連結売上実績

(単位：千円、%)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		対前年同四半期増減(△)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
内線工事	18,614,740	61.2	16,934,009	59.8	△1,680,730	△9.0
電力工事	8,542,235	28.1	7,844,415	27.7	△697,820	△8.2
空調給排水工事	2,730,892	9.0	2,957,956	10.4	227,063	8.3
機器製作	511,290	1.7	581,655	2.1	70,365	13.8
合計	30,399,158	100.0	28,318,037	100.0	△2,081,120	△6.8